

2025年3月10日 金沢まちなかエリアの交通を考えるワークショップ

トランジション・マネジメント実践のための オルグウェア形成過程の分析

(株) 建設技術研究所 多田羅佑太
徳島大学 山中 英生

- ・地域の抱える多くの問題に対して根本的な解決が必要
- ・持続可能な未来社会を目指すには
社会システムを変革する必要があるとされている



- ・既得権や既存の法制度、ステークホルダーの利害関係により合意形成を前提とした社会問題の突破は困難となっている



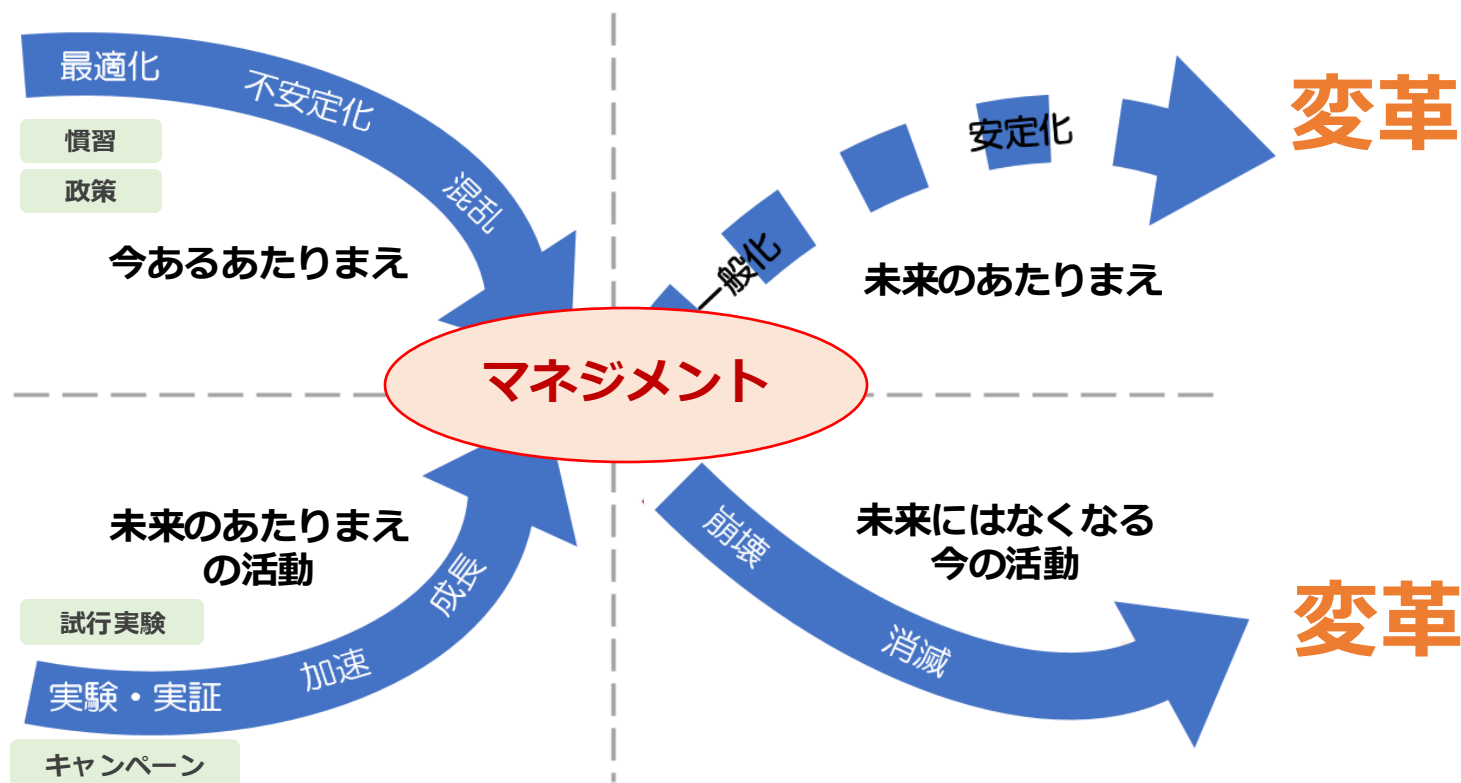
社会システムを変革する際に民主的で効果のある

個人の自主的な行動によるボトムアップで

社会システム転換を促す手法の開発が期待されている

トランジション・マネジメント (TM) (変革) (操縦)

オランダ発祥の方法で**フロントランナー(先駆者)たちの挑戦的な取り組み**により根強い問題に関わる**社会システムを変革する**方法論



トランジション・マネジメントXカーブ図

研究目的

トランジション・マネジメント手法について
金沢市の過去の自転車施策を基に分析

2002年～



自転車・歩行者安全マップ
道の点検簿

2007年



バス専用レーンを活用した
自転車走行指導帯整備

2010年



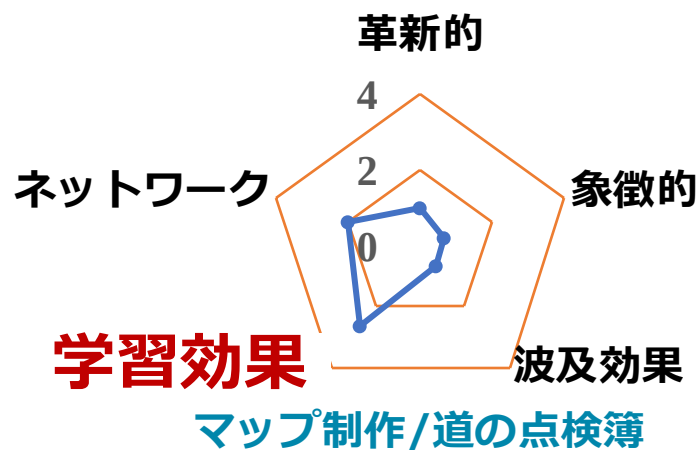
細街路の
自転車走行指導帯整備



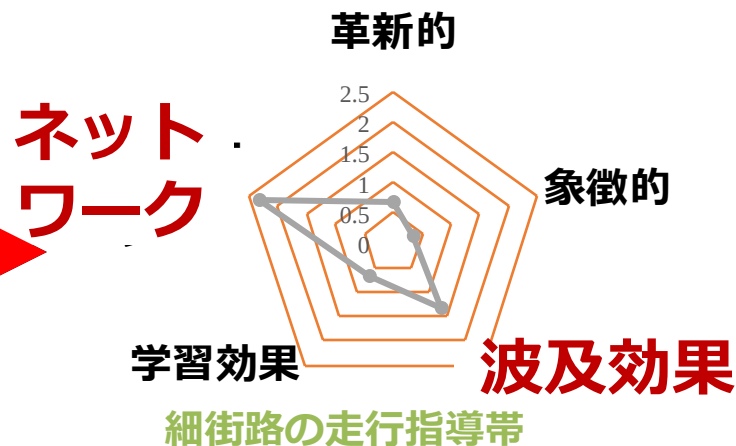
金沢自転車ネットワーク
協議会の設立

トランジションを起こすトリガーとなる要素の連なり

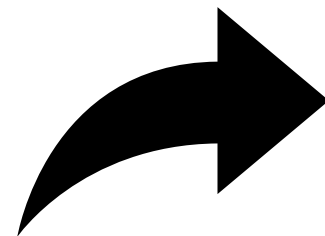
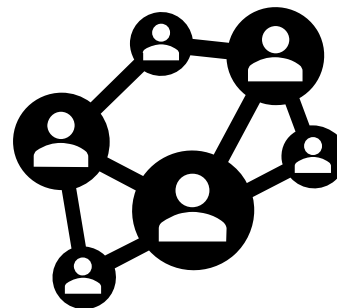
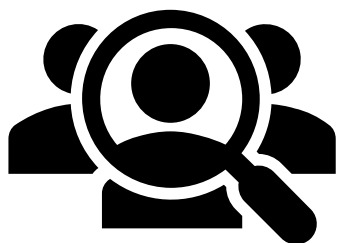
勉強会（学習）→つながり拡大→波及（拡大）→3要素連携



ネットワーク



トランジション・マネジメントの重要な流れ



フロントランナーの発掘

学びの場の提供

ネットワークの拡大

波及効果の広がり

課題

どのようにトランジション・マネジメントの
実践につなげるか

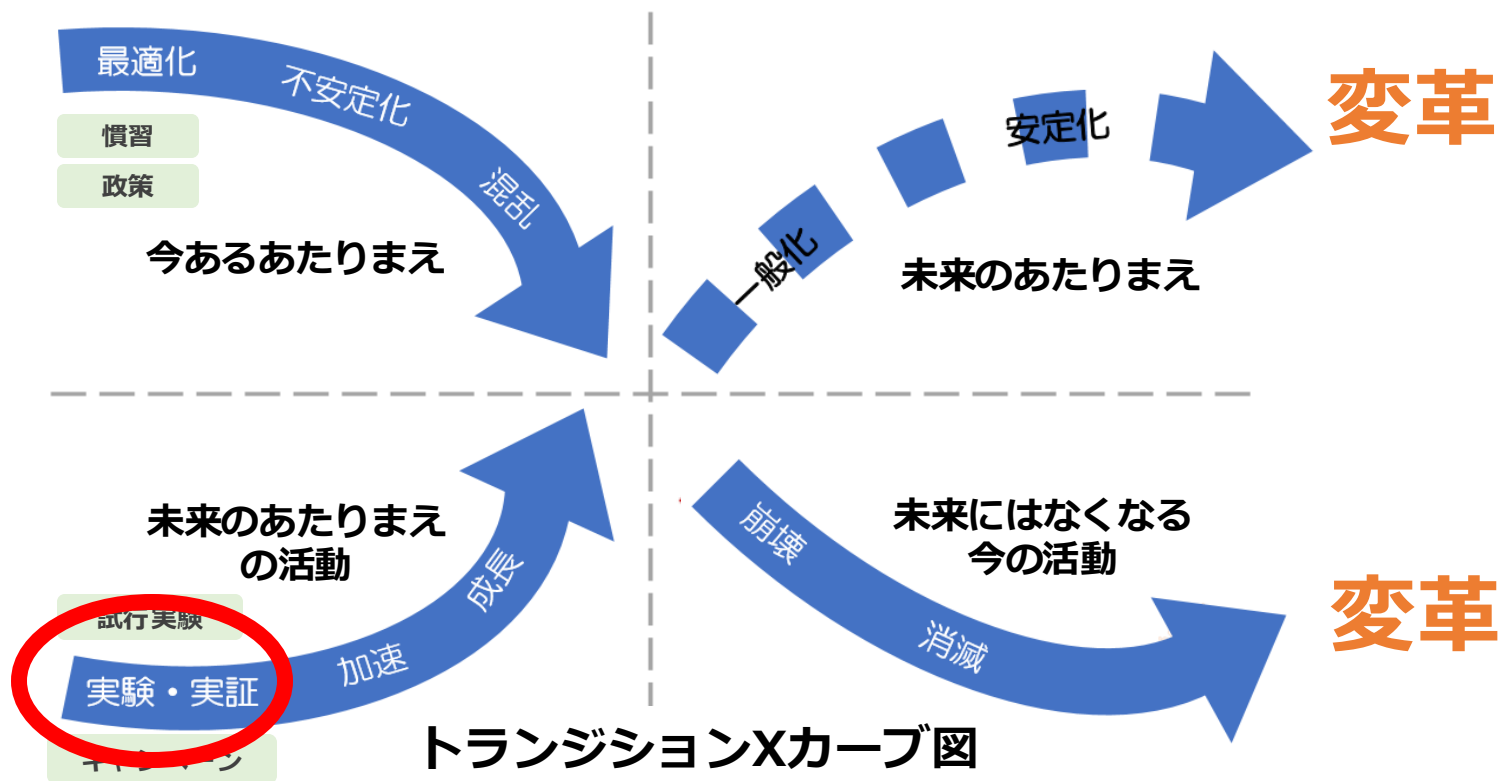


研究成果

まちづくりにおける初動期のTMの適用性分析

2019年WSでプロジェクトが提案された
金沢市の大野・金石地区を対象にTM手法の初動期における
ヒアリングやFGMを導入し、その適用性を分析

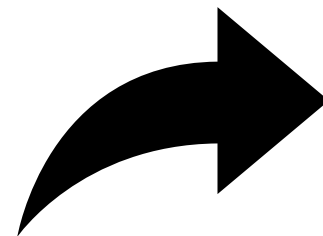
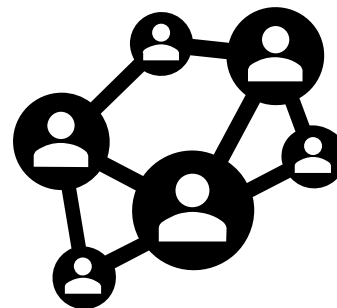
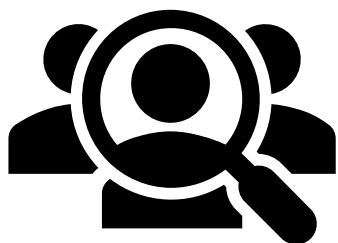
研究成果



➤ FGMやフィードバックを実施することで・・・

**トランジション・マネジメント手法としての
初動の取り組みは有効**

トランジション・マネジメントの重要な流れ

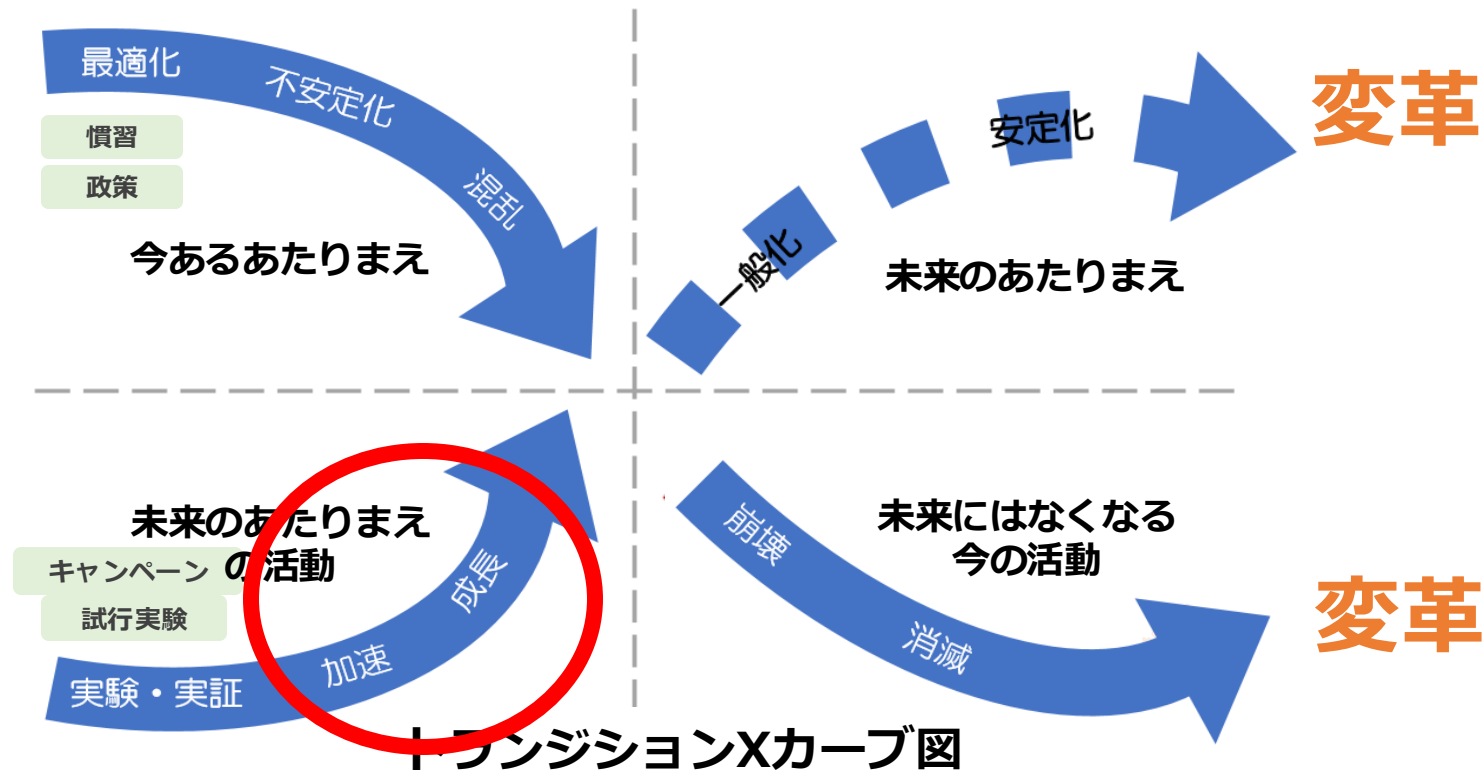


フロントランナーの発掘

学びの場の提供

ネットワークの拡大

波及効果の広がり



まちづくりにおける加速・成長期の
TMの適用性分析

まちづくりにおけるTMの加速・成長期の適用性分析

TM手法の加速、成長段階で重要だと考える事

- ・安定化
- ・ビジネス化
- ・持続可能性
- ・人や組織のネットワーク



安定化、持続可能性、ビジネス化をもたらす

オルグウェアの要素分析

全国5か所のサイクルツーリズムの取組みを対象に
オルグウェアの重要な要素、特性を明らかにする

オルグウェアに注目する意味

ハードウェア：インフラなどの物理的要素

ソフトウェア：アイデア、計画などの心理的要素

オルグウェア：行政や政府のような組織及び制度的な要素

より強固で持続可能な活動にするために…

ハードウェアとソフトウェア

+

組織の能力開発などのオルグウェア

HARDWARE

まちに絡まるエッジデザイン／1階の開放性／人とモノと想いがからまるデザイン／内外のあいまいな境界／人が手を加えなくなる補助線のデザイン／簡易な空間可変性／フォトジェニック／感動する居心地

SOFTWARE

パブリックマインドの高いプログラム／ターゲット：0～100歳のあまねく人々／小さい「やりたい」へのサポート／心地良いテリトリーの獲得／常に変わり続けるプログラム、サービス、メニュー、イベント

ORGWARE

あまねく人々を受け容れるコミュニケーション力／最小限で継続できる運営／許可ではない全力の応援／すばやい実行／ゼロマニュアル／原価計算の前に能動性／

オルグウェア

「ハードウェア」と「ソフトウェア」だけでなくそれらを繋ぐもの

連携・繋がり
コミュニケーション



- ・ 自転車を活用するまちづくりの意味を理解するための学ぶ場
- ・ 仲間（官民連携）とつながる場



能動的に繋がる場づくり

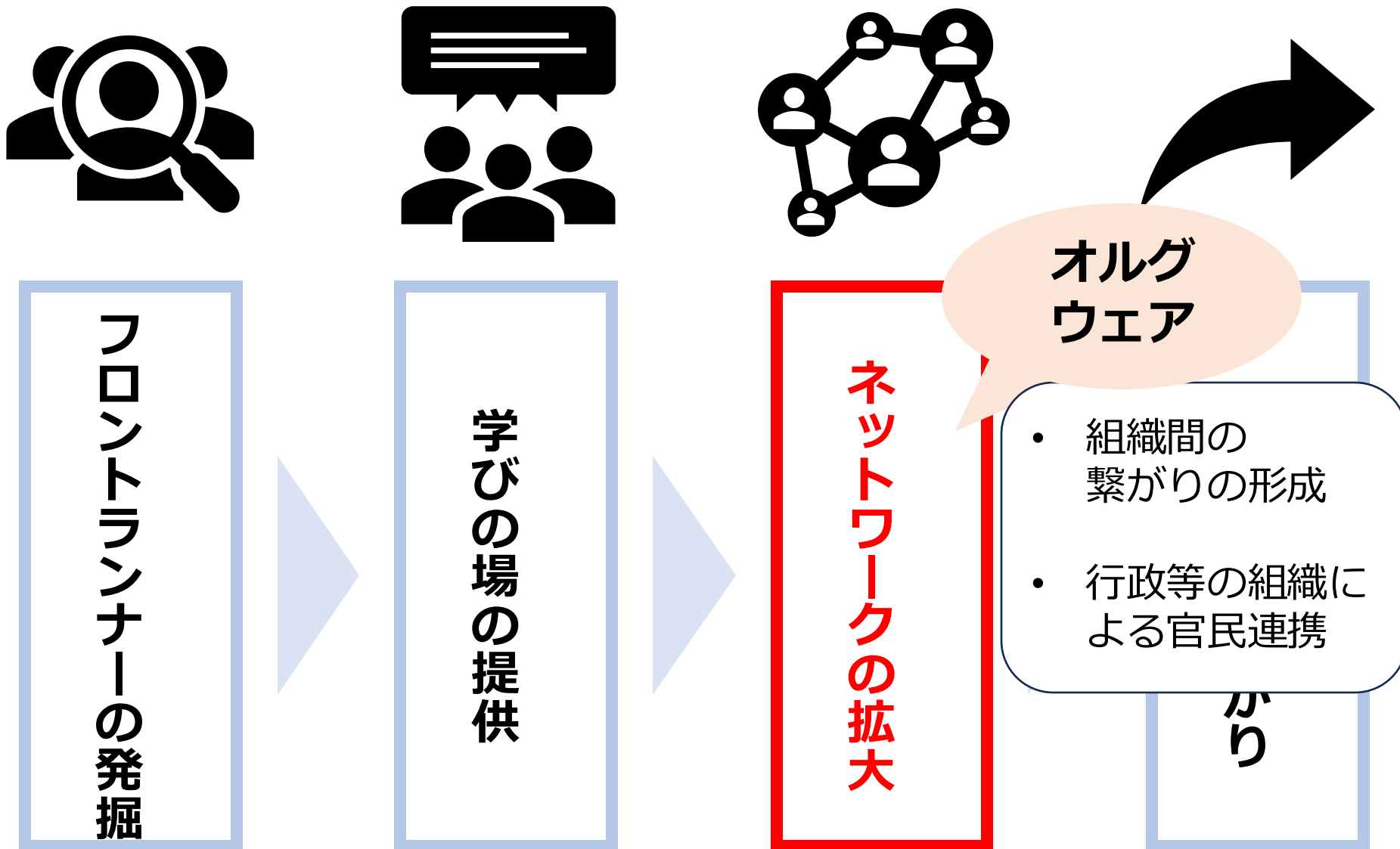
ツーリズム：官民の連携が必要

ハード整備：道路づくり
⇒行政

ソフト整備：
観光の為にイベント等の企画
⇒民間

オルグウェア整備：
官民がつながる場づくり

トランジション・マネジメントの重要な流れ



TM手法の加速・成長期における オルグウェアの形成過程・重要要素を明らかにする

- どのように輪が広がっていったのか
人のつながりが構築されていったのか
- どのような人が組織を拡大するときに重要なのか
- 官民といった価値観の異なる組織の連携は
どのように構築されるか

ヒアリング調査

全国5地区のサイクルツーリズムに関わっている人物（8名）

- ・ 活動開始からの人の繋がり方、輪の広がり方
- ・ 人との繋がりを構築する上で苦労した点、困った点
- ・ サイクルツーリズムを進めるにあたって調整が必要だった点
調整が難しかった点



オルグウェア形成図とオルグウェア構成図を用いた分析

○福井県嶺南地域：わかさいくる

ヒアリング実施者：

・県職員A氏 ・県職員B氏 ・観光協会C氏

○鳥取県：大山時間×うみなみロード

ヒアリング実施者：・商工会D氏 ・県職員E氏

○（株）アーチヒーロー北海道の高橋氏の活動

ヒアリング実施者：（株）アーチヒーロー北海道の高橋氏

○金沢市のまちのりプロジェクト

ヒアリング実施者：民間事業者F氏

○徳島大学サイクルツーリズム講座

ヒアリング実施者：矢部教授

- 福井県嶺南地域で若狭湾を中心とした**行政主導**のサイクルツーリズム

- 嶺南地域に誘客を図るため「敦賀駅」から「若狭高浜駅」まで6市町を結ぶ「若狭湾サイクリングルート」（愛称：わかさいくる）を整備
- ナショナルサイクルルートの指定を目指す



引用：第10回自転車利用環境向上会議の発表資料より

○鳥取県：大山時間×うみなみロード

- ・ 商工会が進める民間主導の「サイクルツーリズム」
- ・ 域外から誘客する観光を実現する手段のひとつとしてサイクルツーリズム



引用：第10回自転車利用環境向上会議の発表資料より

○（株）アーチヒーロー北海道の高橋氏の活動

- 北海道ニセコ地区で始め、サイクルツーリズムを通じた地域活性化にいち早く着目
- サイクルツーリズムのプロデューサーとして、全国各地で進められている自転車を活用した地域活性化の基礎づくりを支援している



引用：会社概要 | hero Hokkaido 株式会社より



○金沢市のまちのりプロジェクト

- ・ まちのり（電動アシストシェアサイクル）で巡るサイクリングツアー



○徳島大学サイクルツーリズム講座

- ・ サイクルツーリズムをマネジメントする人材育成を目指して地域のハブづくり
- ・ 事例共有や議論を通じたサイクルツーリズム連携



○福井県嶺南地域：わかさいくる

ヒアリング実施者：

・県職員A氏 ・県職員B氏 ・観光協会C氏

○鳥取県：大山時間×うみなみロード

ヒアリング実施者：・商工会D氏 ・県職員E氏

○（株）アーチヒーロー北海道の高橋氏の活動

ヒアリング実施者：（株）アーチヒーロー北海道の高橋氏

○金沢市のまちのりプロジェクト

ヒアリング実施者：民間事業者F氏

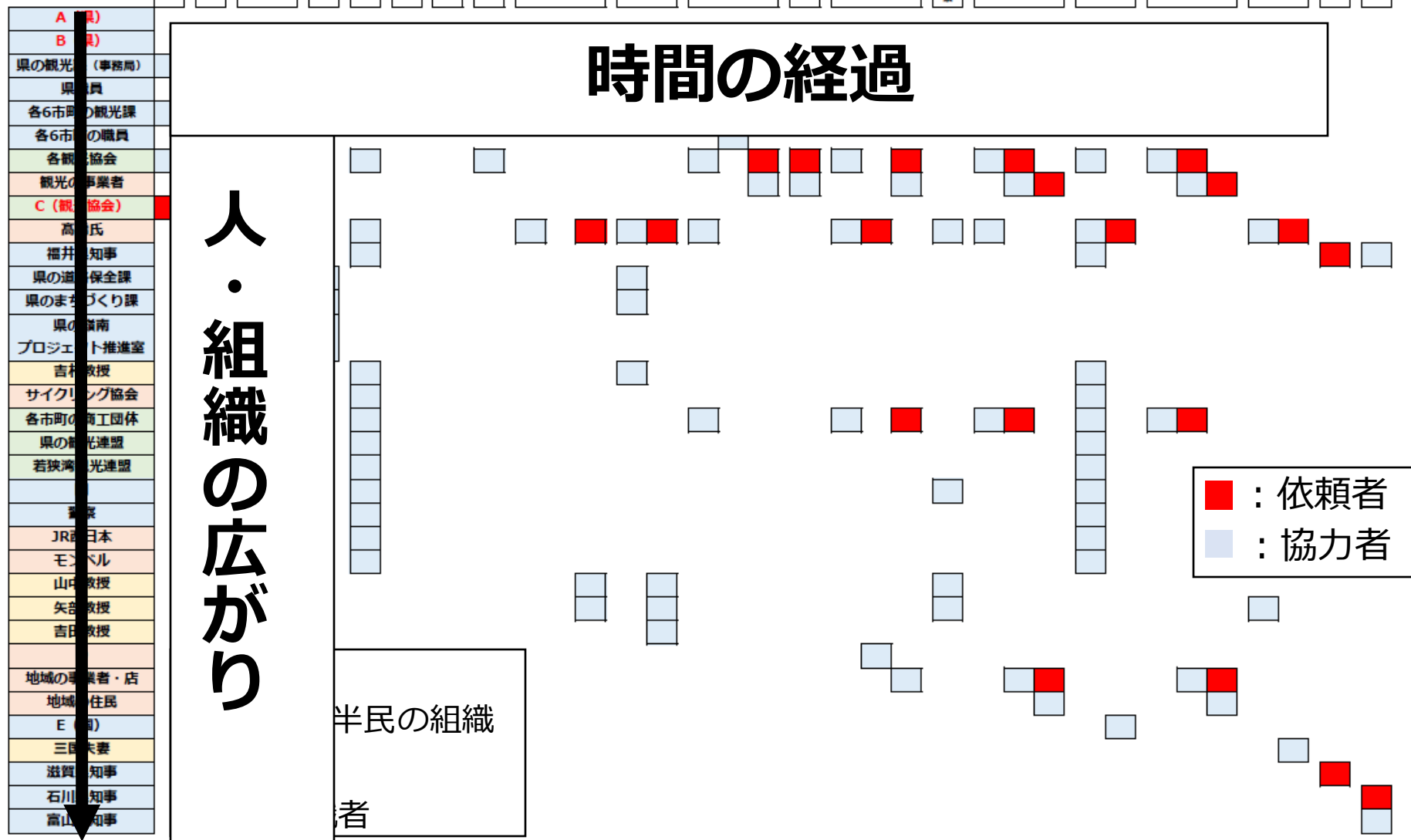
○徳島大学サイクルツーリズム講座

ヒアリング実施者：矢部先生

福井県におけるオルグウェア形成図

22

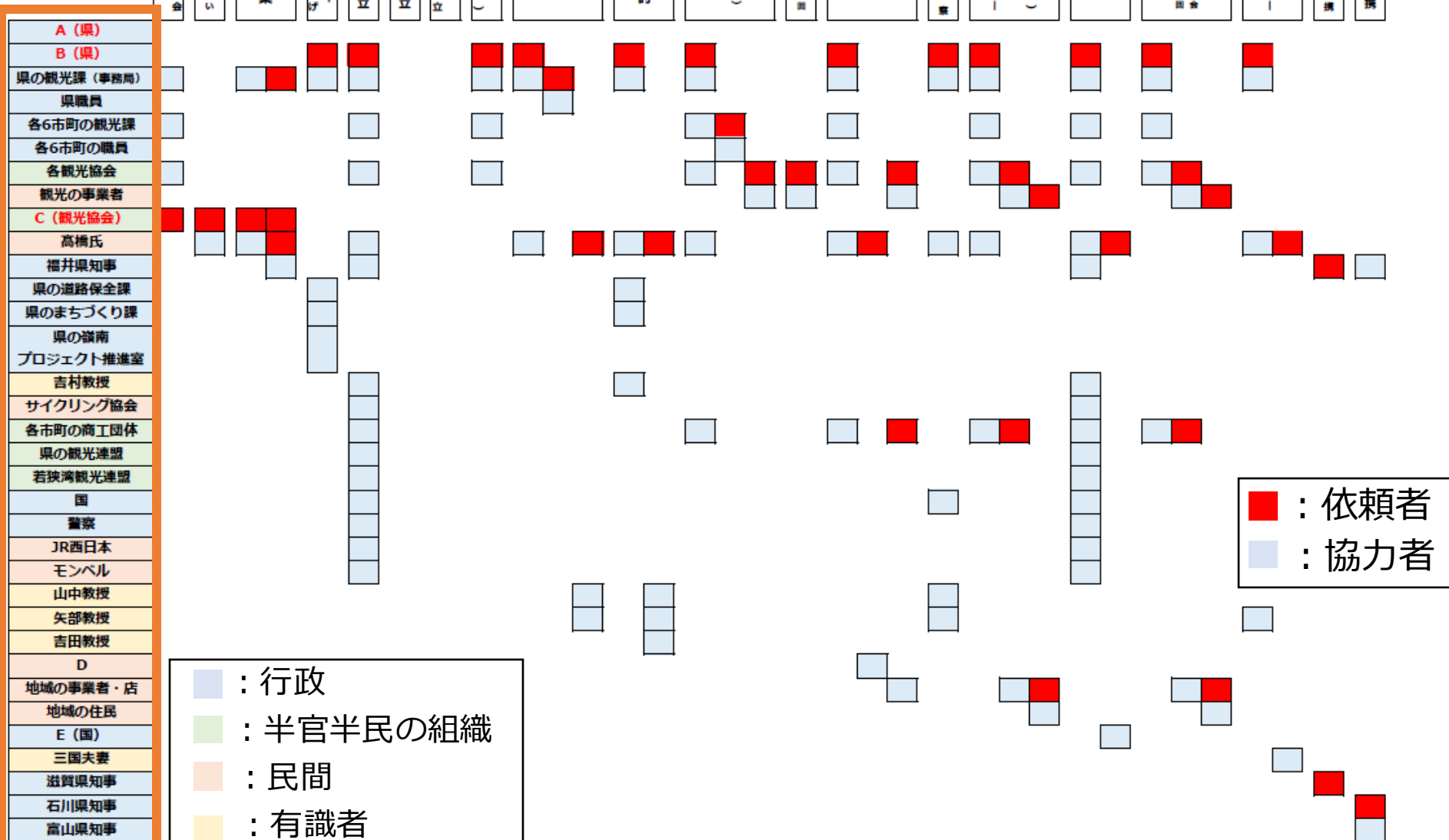
R2	R2	R2	R3	R3.6	R3.6	R3	R3	R3.8	R3.11	R3.10~2	R4.1	R4.2	R3	R4	R4	R4	R4	R4	R4
ルートの 説明会	主催者と 出合い	知事に 提案	チーム プロジェクト の立ち上げ	協議会 の設立	幹事会 の設立	グループ ワークの 設定	(行政 施設 メー イン)	WS (県)	ル ー ト 検 討	WS 計 6 (各 市 町)	協議会 ツ 1 6 回	講 習 会	講座 2 7 回 視 察	モニ タ ー 2 (事 業 者)	講 演 会	各 自 市 町 を 1 回 計 し 6 回 合	モニ タ ー 1 回	滋 賀 県 と の 連 携	北 陸 三 県 連 携



福井県におけるオルグウェア形成図

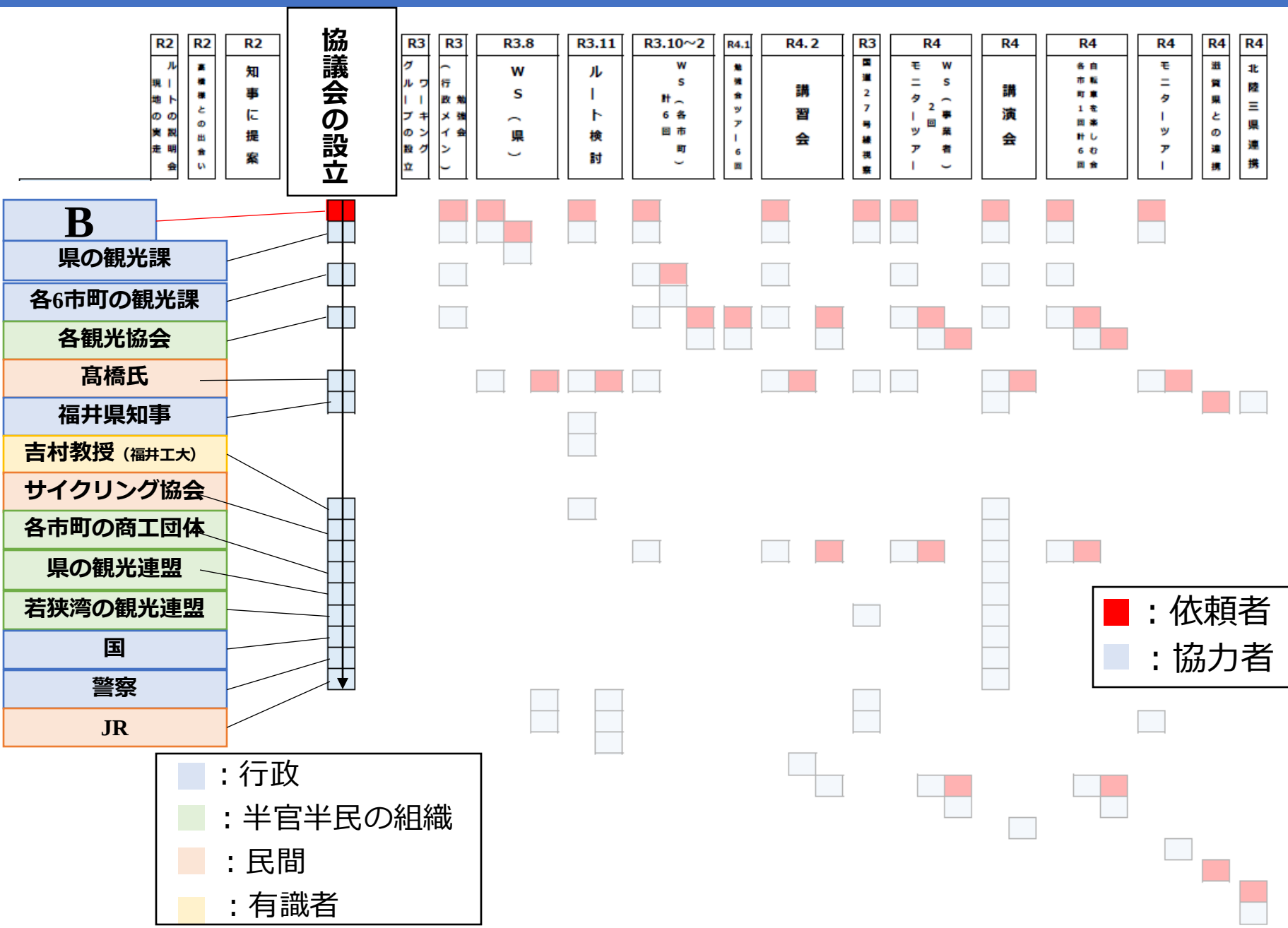
23

R2	R2	R2	R3	R3.6	R3.6	R3	R3	R3.8	R3.11	R3.10～2	R4.1	R4.2	R3	R4	R4	R4	R4	R4
ルートの説明会 現地での実走	高橋君との出会い	知事に提案	チーム立ち上げ プロジェクト	協議会の設立	幹事会の設立	グループの設立	(行政メイン) 勉強会	WS (県)	ルート検討	WS (各市町) 計6回	勉強会 ツアー16回	講習会	国道27号視察	WS(事業者) モニターツアー 2回	講演会	自転車 を牽引 町会 1回 計6回	モニター ツアー	滋賀県との連携 北陸三県連携



福井県におけるオルグウェア形成図

24



福井県におけるオルグウェア形成図

25

R2	R2	R2	R3	R3.6	R3.6	R3	R3	R3.8	R3.11	R3.10~2	R4.1			R4	R4	R4	R4	R4	R4
ル ー ト の 実 定 会	高 橋 氏 と の 出 会 い	知 事 に 提 案	チ ム 立 ち 上 げ	協 議 会 の 設 立	幹 事 会 の 設 立	グ ル ー プ の 設 立	(行 政 メ イ ン)	W S (県)	ル ー ト 検 討	W S (各 市 町 計 6 回)	輪 船 会 ツ ア ー 6 回		講 習 会	モ ニ タ ー ツ ア ー 2 回 W S (事 業 者)	講 演 会	各 市 町 1 回 計 6 回 会	モ ニ タ ー ツ ア ー	滋 賀 県 と の 連 携	北 陸 三 県 連 携

B

県の観光課

各6市町の観光課

各観光協会

高橋氏

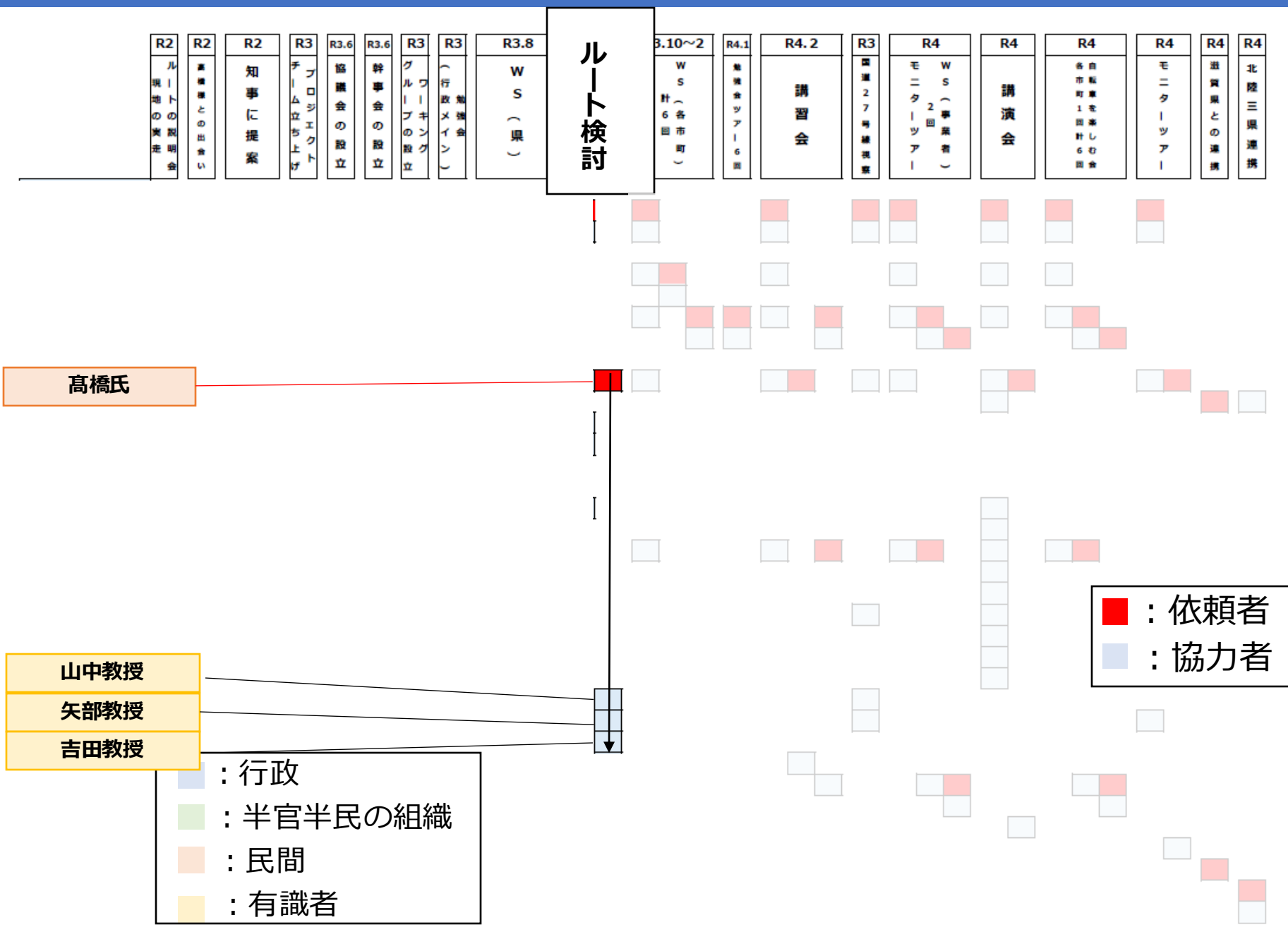
各市町の商工団体

■ : 依頼者
■ : 協力者

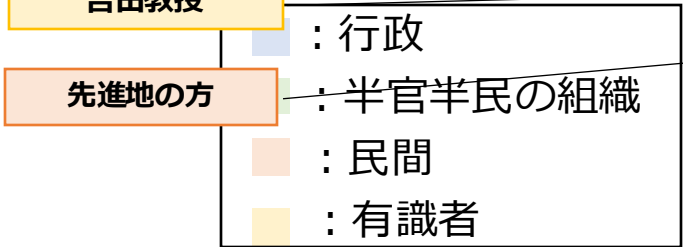
■ : 行政
■ : 半官半民の組織
■ : 民間
■ : 有識者

福井県におけるオルグウェア形成図

26

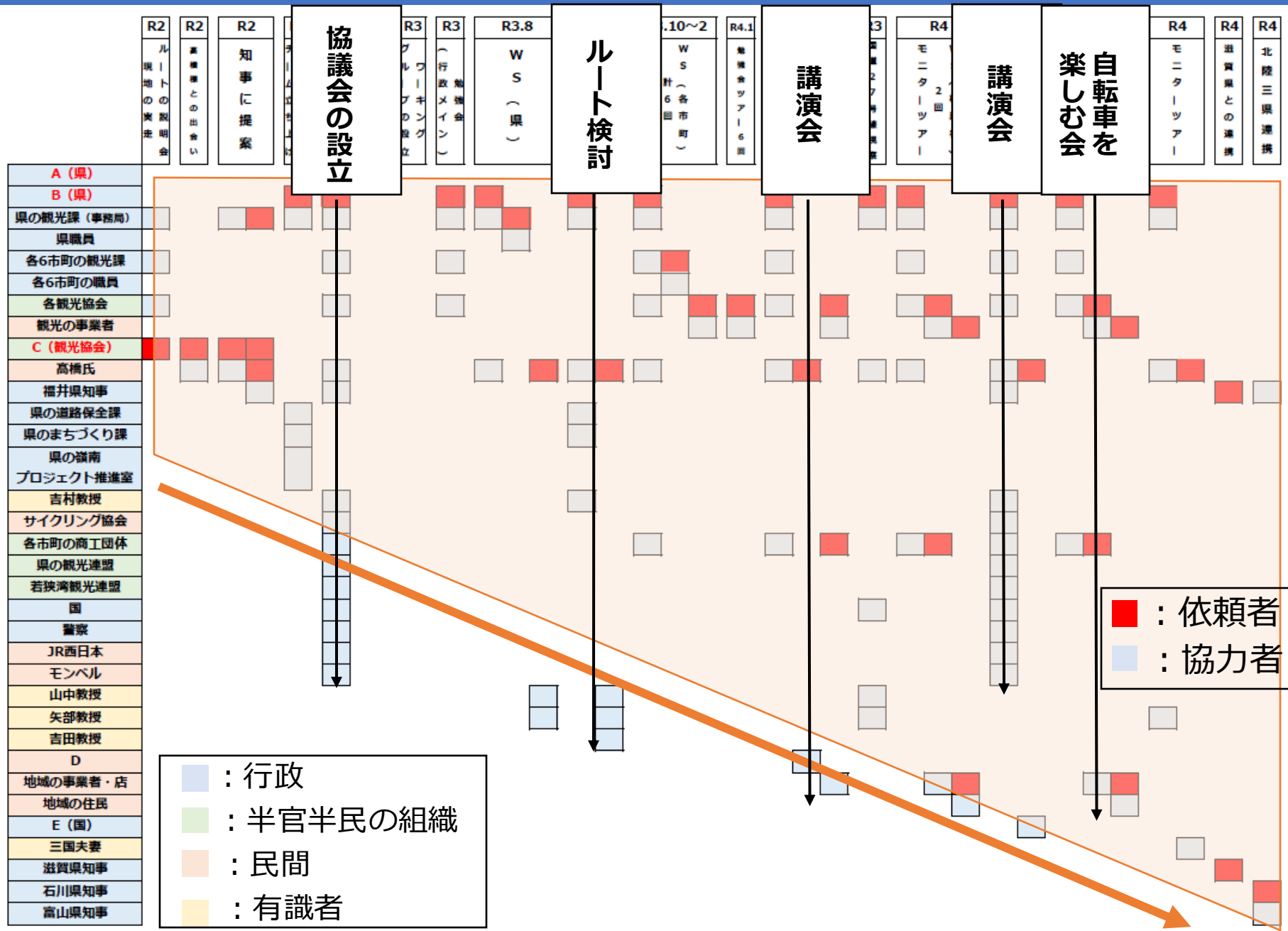


27



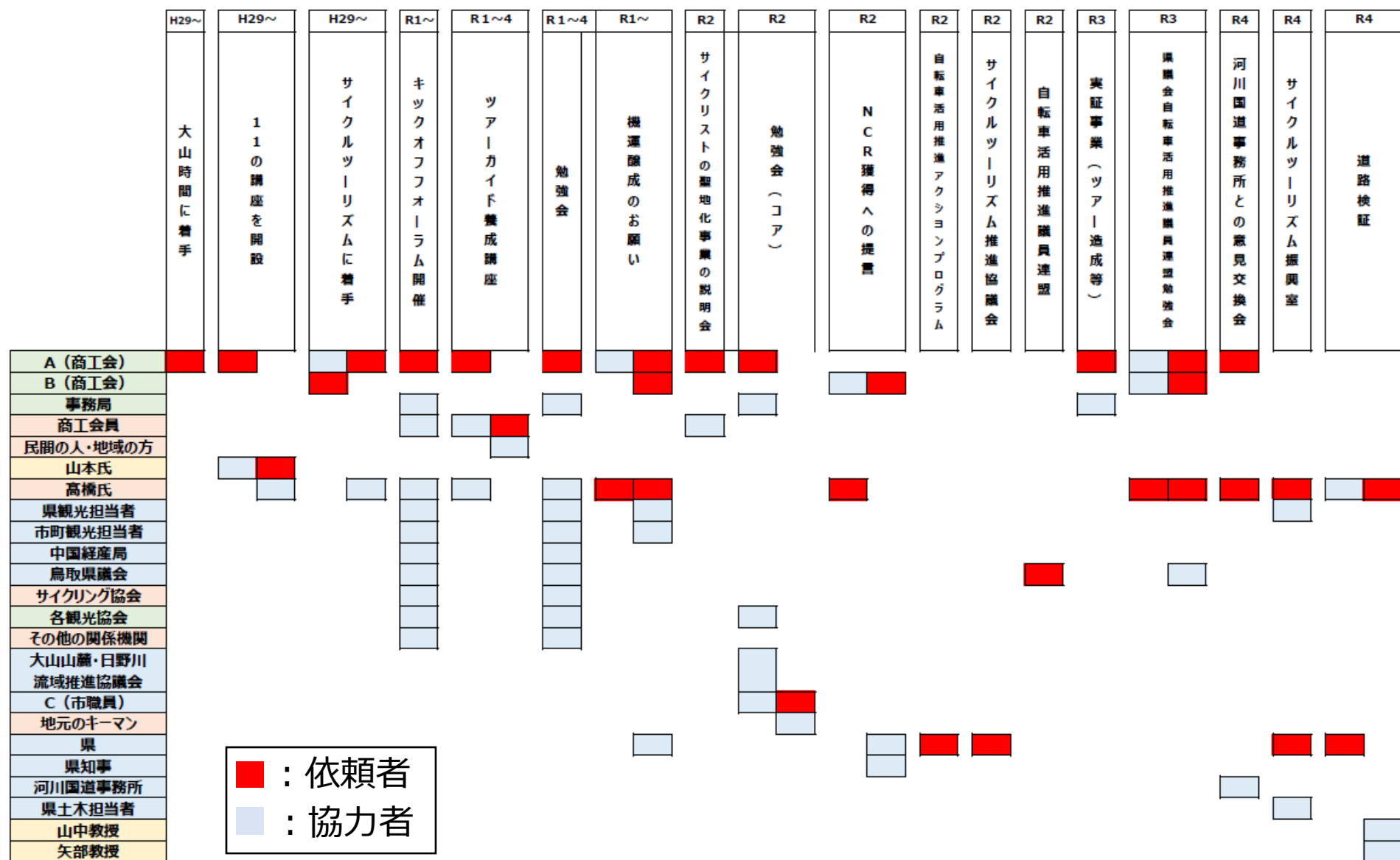
福井県におけるオルグウェア形成図

28



鳥取県におけるオルグウェア形成図

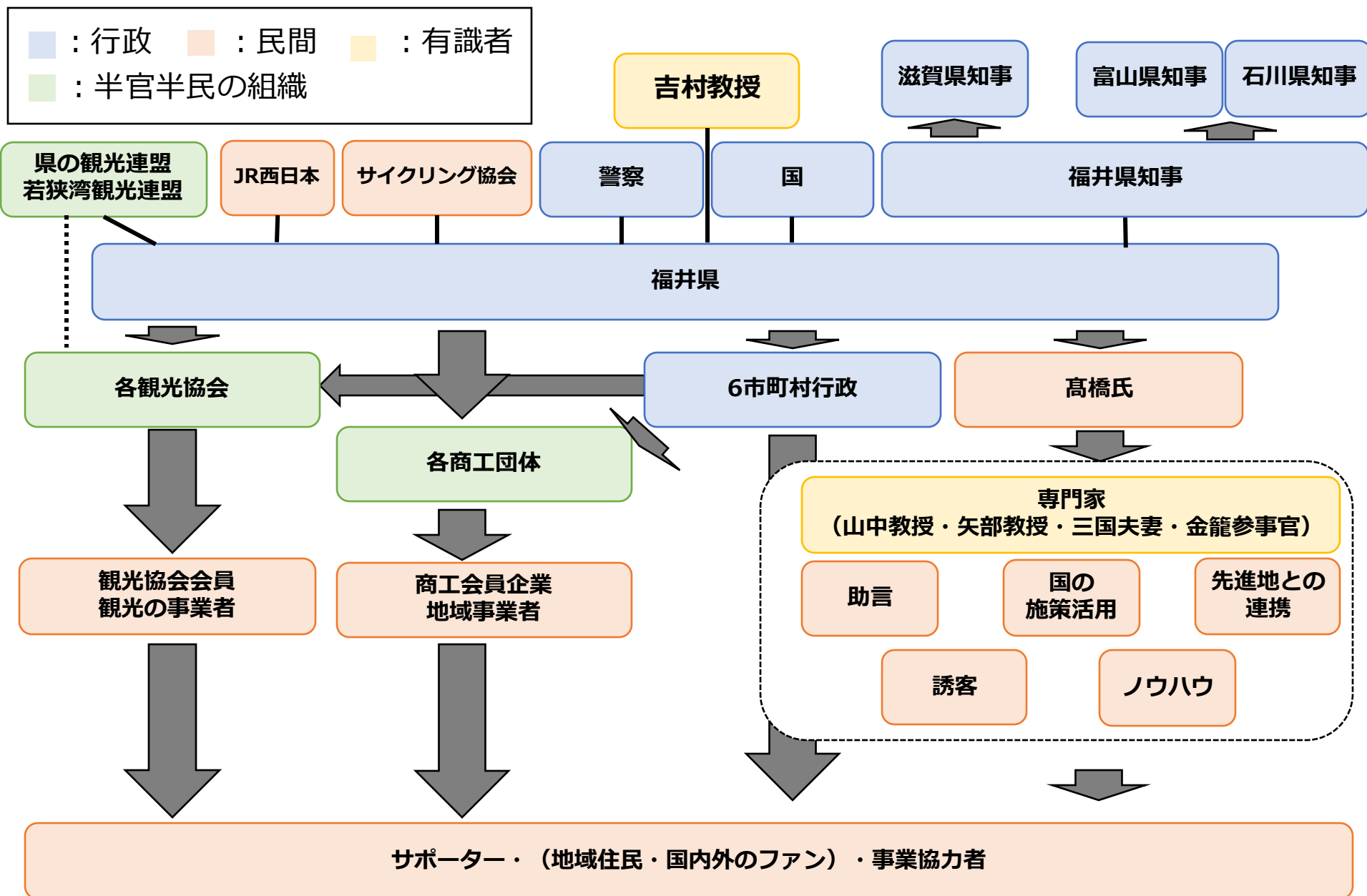
29



- **行政と商工会の担当者が地域のコーディネータ**
行政と商工会の担当者が市町村、各商工団体、観光団体を繋ぐ
WSや勉強会、ツアーといった繋ぐ場づくり
- **高橋氏が他地域の方や有識者を繋ぐコーディネータ**
高橋氏が有識者や先進地との連携といった繋がりの創出
- **勉強会やサイクルツアーなどの場が
官民両方の人が集まり、官民繋がる有益な場になっている**
 - ✓ 地域と外部と有識者が繋がる場
 - ✓ 繋がる場が継続してあることで、輪が拡大

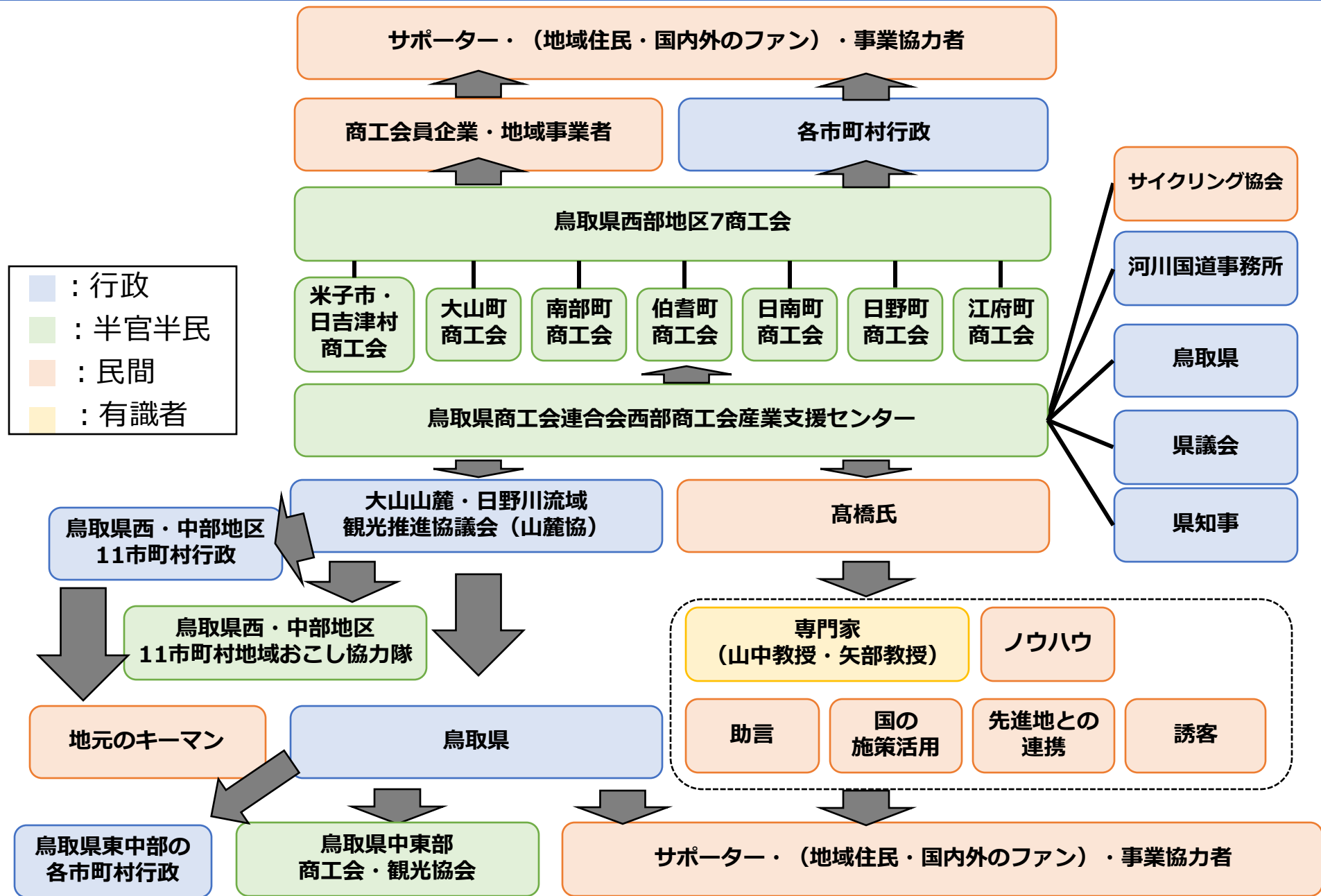
福井県におけるオルグウェア構成図

31



鳥取県におけるオルグウェア構成図

32



オルグウェア形成の初期段階（step1）

◆ 横（関係団体）の繋がり構築が重要

商工会や行政の担当者が個別に事業の意図やメリット、先進事例を説明



組織としての関与が不可欠であるという共通認識を持ってもらう



組織間の繋がりの構築に有効

◆ 地域内を繋ぐコーディネーターと

地域外を繋ぐコーディネーターの存在が重要

オルグウェア形成の次段階（step2）

◆ 繋がり場による連携意識強化・深化が重要

ツアーやWS、講演会などの継続した場づくりにより
行政・半官半民組織・有識者・地域住民など多様な人が出会う



個人間の共感の繋がりが形成されている

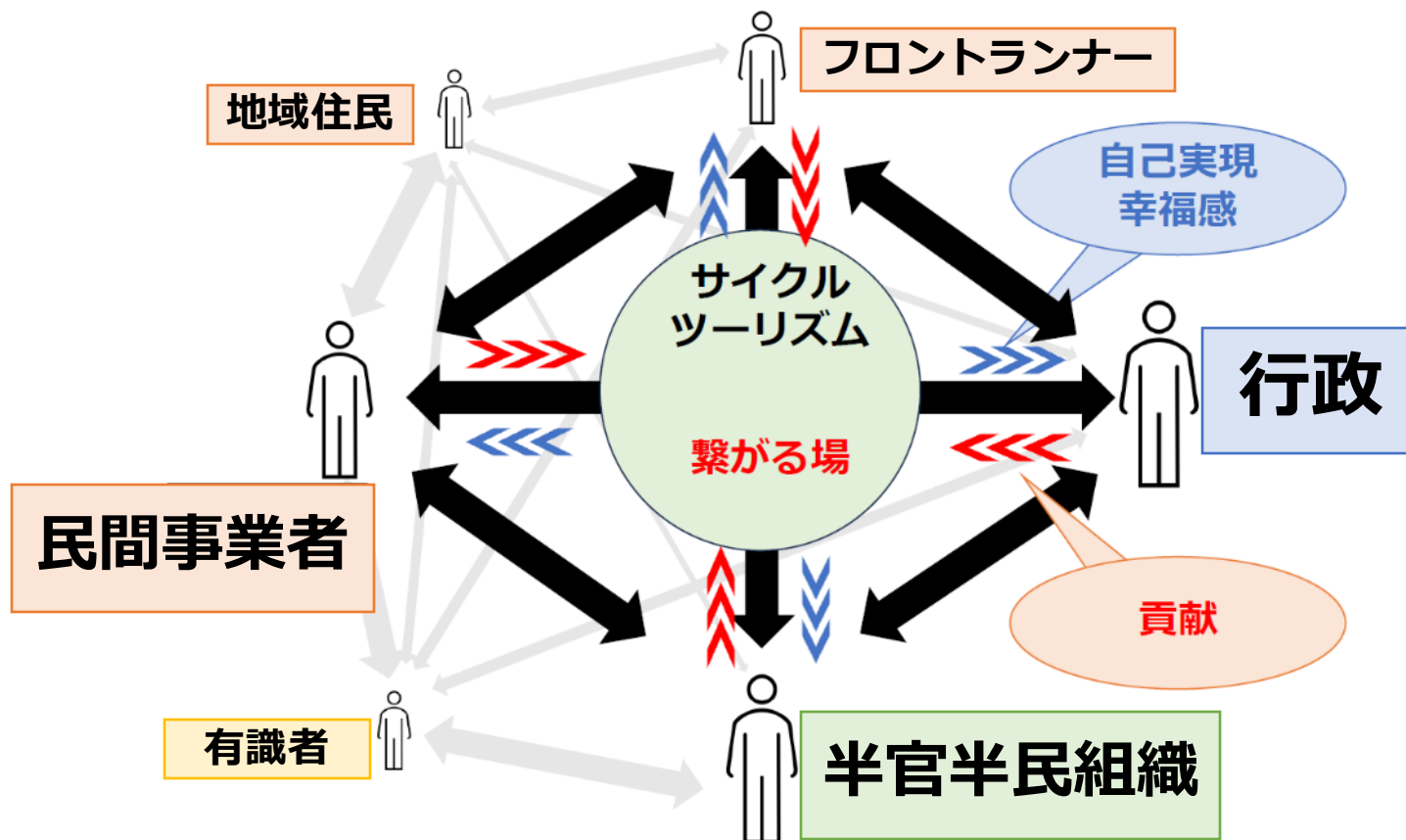
◆ 官民連携は半官半民組織が架け橋となる

- ・ 半官半民組織が価値観の異なる行政と民間の架け橋になる役割
- ・ 県や国が事業に取り組む際には
各市町の行政を巻き込み、半官半民組織を通して
民間まで活動を広げることが重要

オルグウェア形成のネットワーク

◆ 自律分散型のネットワークの形成が重要

1人のコーディネーターの取り組みではなく
個々が自律してコミュニティにオープンに繋がるネットワーク



課題：トランジション・マネジメントの実践

- 地域住民への波及浸透
- 民間によるビジネスの自走化

今後の展望

UGC分析による
波及効果の検討が有効

- SNSからみた地域への浸透効果
- 地域住民の巻き込み

トランジション・マネジメントの重要な流れ



フロントランナーの発掘

学びの場の提供

ネットワークの拡大

波及効果の広がり